

ザク・マシンガン



ザク・バズーカ



腰部武器装着



リアビュー



アクションポーズ



MS-06S 'ZAKU II'

PRINCIPALITY OF ZEON CHAR'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MS-06S
TOTAL HEIGHT : 17.5m
WEIGHT : 56.2t
TOTAL WEIGHT : 74.5t
GENERATOR OUT PUT : 976kw
MATERIAL : SUPER HARD STEEL ALLOY
ARMAMENTS :
ZAKU MACHINEGUN
ZAKU BAZOOKA
HEAT HAWK



COLOR GUIDE

- ※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
- ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(HG「シャア専用ザク」用、その他カラーセット)をお使いください。
- 本体等：
 - レッドブラウン (100%)
 - ※または、ガンダムカラー レッド6
- 関節、武器等：
 - ブルーグレー (60%)
 - +ネービーブルー (30%)
 - +ブラック (10%)
 - ※または、ガンダムカラー グレー7
- 脚、腕、頭部等：
 - ホワイト (50%)
 - +イエロー (30%)
 - +レッド (20%)
 - ※または、ガンダムカラー ピンク3
- バックパック：
 - レッド (100%)
- 胸部、ヒザ等：
 - ブラック (70%)
 - +ホワイト (30%)
 - ※または、ガンダムカラー ファントムグレー
- ヒート・ホーク：
 - パープル (70%)
 - +ホワイト (30%)
 - +レッド (少量)

1/144 SCALE
HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2002 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

0112814



MS-06S “ZAKU II”

MS-06Sは、「赤い彗星のシャア」が駆ったことで一年戦争初期の傑作機として知られ、基本的にはMS-06ザクIIのバリエーションとして認識されているが、実際には別の機体であると言っても過言ではない。例えば、市販車をベースにレースカー並みのチューンナップを施したようなものである。そのため、生産性や操作性を重視したF型と比較して、大幅な機能向上が計られている反面、かなり扱いにくい機体となっており、積極的に機体バランスを崩せるような熟練者以外には乗りこなせなかったとも言われている。俗に「通常のザクの3倍のスピード」などと評価される挙動も、パイロットの腕によるものだったらしい。S型の外観はF型とほとんど変わらないが、各種内装部品には特殊なものも多く、一年戦争中～後期に活躍した高機動型のR系の機体に移行する寸前のものであるということもできる。実際S型は、「高機動のR型的设计思想に基づいた機体をF型の設備で生産する」という、先行試作型とも呼べる機体であり、機動性向上のための技術

開発の実戦投入試験機としての側面を持つ機体なのである。カタログデータとしては、バーニアスラスターの出力向上などが計られている程度といわれるが、実際にはそれだけでも非常に困難な技術的課題が山積していたことは言うまでもないだろう。ちなみに、赤以外に塗装されたS型も多数存在している。S型の特長は、F型と80%以上の部品共有率を持っており、F型の運用設備をほぼそのまま流用することができたことである。これは、補給やメンテナンスの面からも歓迎された。F型の特長は、簡単な改装で空間戦闘にも重力下戦闘にも対応できたことである。例えば、宇宙空間での追撃対象が地球に降下した場合であっても、引き続き任務を継続することが可能だったのだ。つまり、同じ設備でS型も同様に改装することが可能だったのである。このことは、地球上におけるMSの運用面で多大な恩恵をもたらしたと言われている。

ブレードアンテナ

基本的に通常のF型指揮官機と同等の部品が使用されているが、より一層の機能向上のため、アンテナ基部の構造などに変更が加えられている。アンテナの有無は隊長機のインシグニアとしても認識されている。

ショルダー スパイクアーマー

ショルダースパイクアーマーは、もともと施設破壊や防壁突破などのために装備されたが、連邦軍がMSを投入してからは、対MS戦時のタックルなどにも有効であることが確認されている。

動力パイプ

ザクの動力システムは、炉心から発生するエネルギーをパルス状の圧力に変換し、関節駆動用のロータリーシリンダーに極超音速で伝達する“流体内パルスシステム”を採用している。ザクI (05型) はこれを内装していたが、ザクII (06型) は生産性と整備性優先のため露出させている。

ザク・マシンガン

公国軍のMS用マシンガン。新旧ザクのもっとも一般的な携行武装で、一年戦争の初期に多用された。

SPEC

型式番号：MS-06S
 頭頂高：17.5m
 本体重量：56.2t
 全備重量：74.5t
 ジェネレーター出力：976kw
 装甲材質：超硬スチール合金
 武装：ザク・マシンガン
 ザク・バズーカ
 ヒート・ホーク



ヒート・ホーク

MSの白兵戦用の武器。ブレード部分が赤熱化し、敵の機体を溶断する。



ザク・バズーカ

ザクが使用する大型火器のひとつ。開戦当初は核弾頭の射出にも使用されたが、南極条約締結後は通常弾頭を装備している。



MS-06S シャア専用ザク

MS-06S シャア専用ザクは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および劇場用作品「機動戦士ガンダム」に登場したMS“ザク”の指揮官機である。U.C.0079年9月19日、ゲリラ掃討作戦からの帰路、連邦軍の「V作戦」の要である新型戦艦“木馬”ことホワイトベースと白いMS“ガンダム”に遭遇したシャア少佐は、結果的に3機のザクを撃破され、ミサイルや弾薬など、装備のほとんどを使い果たしてしまっていた。そのため、サイド7を脱出した木馬の追撃戦もままならず、補給を受けざるを得ない状況に陥っていた。ところが、シャア率いるムサイが補給艦バブアと合流したその時、木馬と白いMSが攻撃を仕掛けてきた。再び連邦のガンダムに立ち向かうシャアの赤いザク。「MSの性能の違いが戦力の決定的差ではないということを…教えてやる！」

CG Work by YUJI KONNO (Jam)

MS-06S ZAKU II (シャア専用ザク) デザインワークス(コンセプトデザイン：カトキハジメ)

MS-06S R. HQU. Ver. 2.06
12/16/85



「シャア専用ザク」のリニューアルデザインにおいては、後の公国軍モビルスーツの要となるデザインラインの再現と、肩関節や足首をはじめとする各部の可動範囲のさらなる拡大が、重点的なポイントと言える。

Illustration work
 Drawn by SHINO MASANORI
 CG Work by FURUKAWA TAKAYUKI

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。

- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

注意 (ちゅうい)

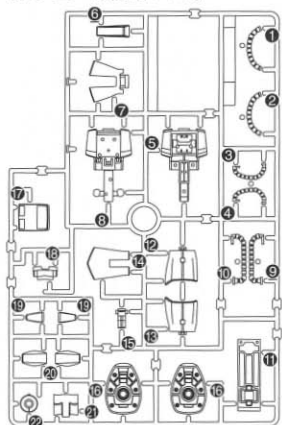
- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品は番号を確かめ、きれいに切り取りましょう。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。



パーツリスト

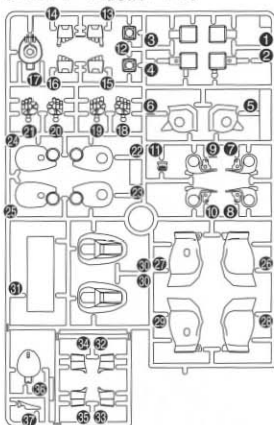
Aパーツ

(スチロール樹脂: PS)



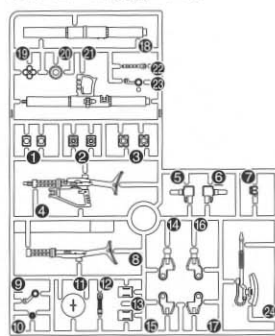
Bパーツ

(スチロール樹脂: PS)

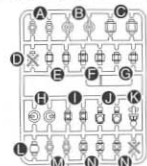


Cパーツ

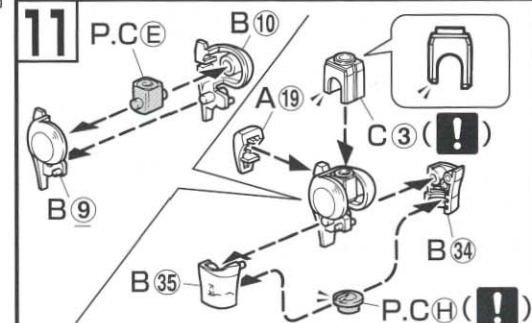
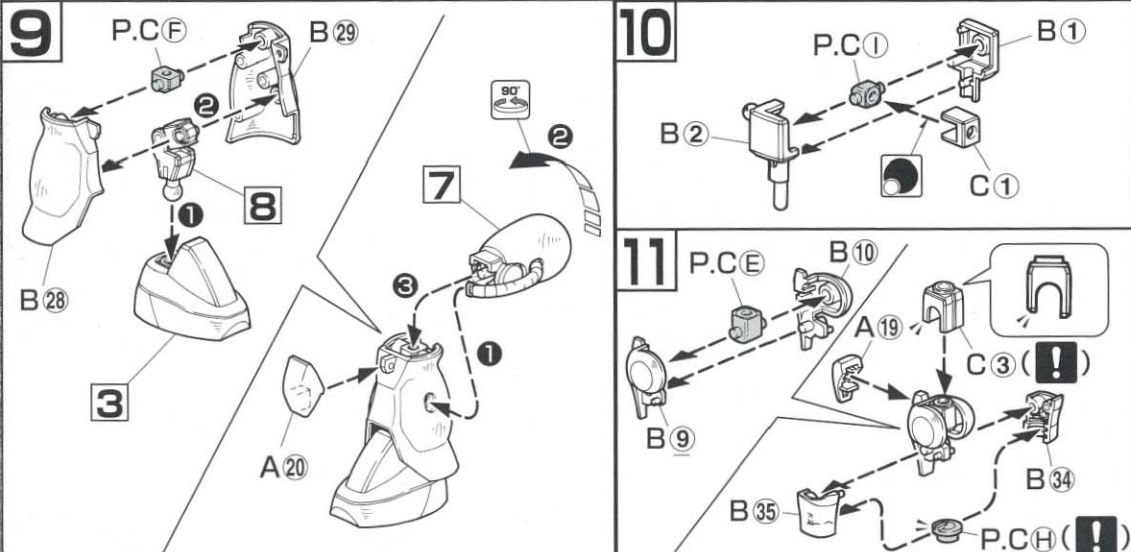
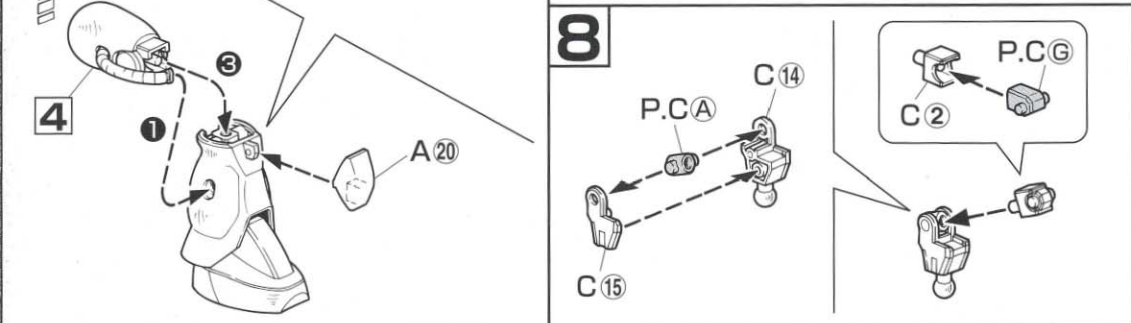
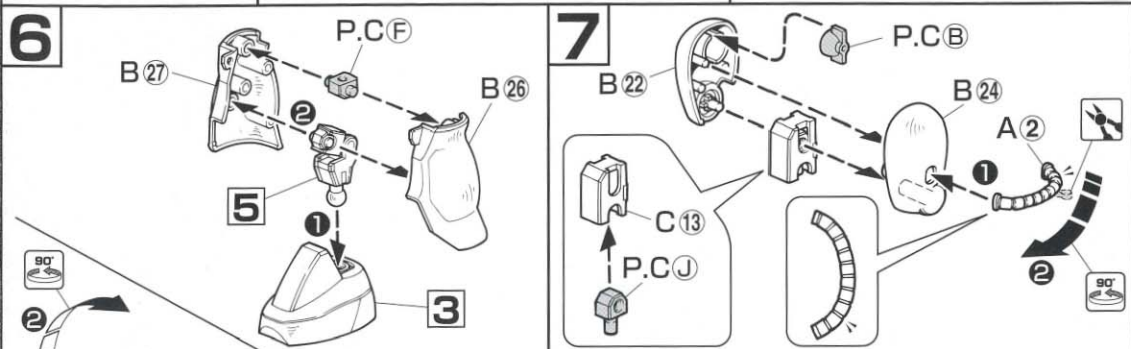
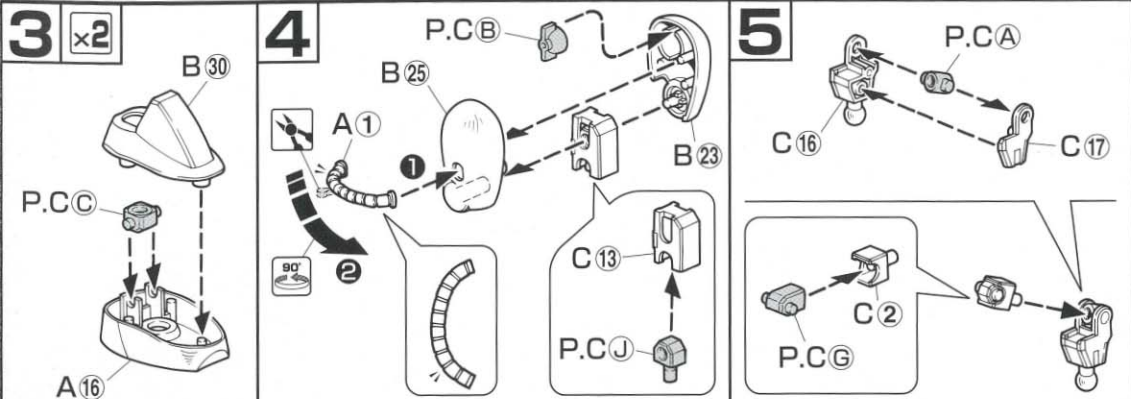
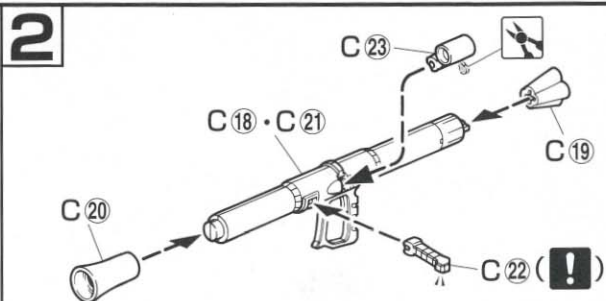
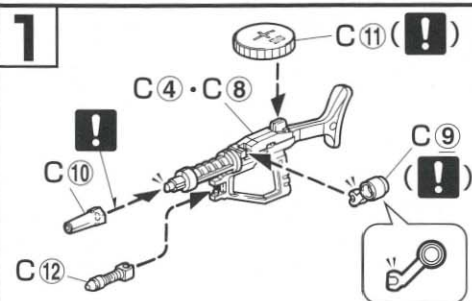
(スチロール樹脂: PS)



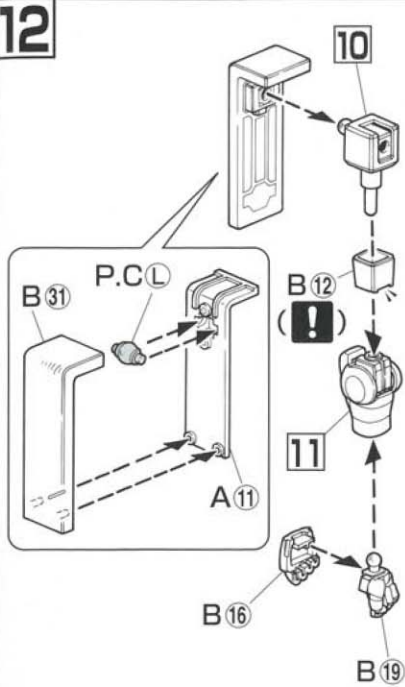
＜P.C-123プラス＞
(ポリエチレン: PE)



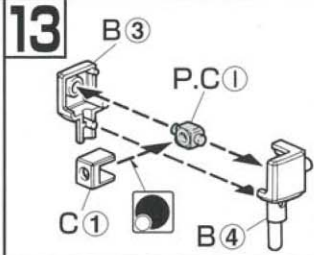
●シール……………1



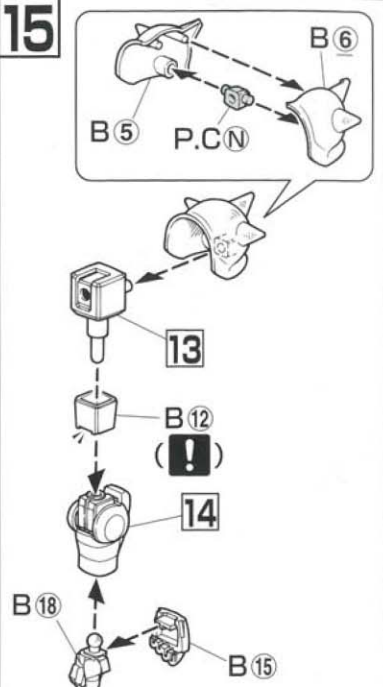
12



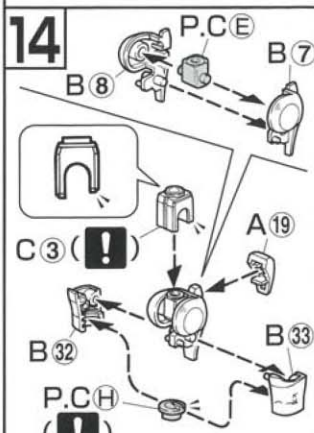
13



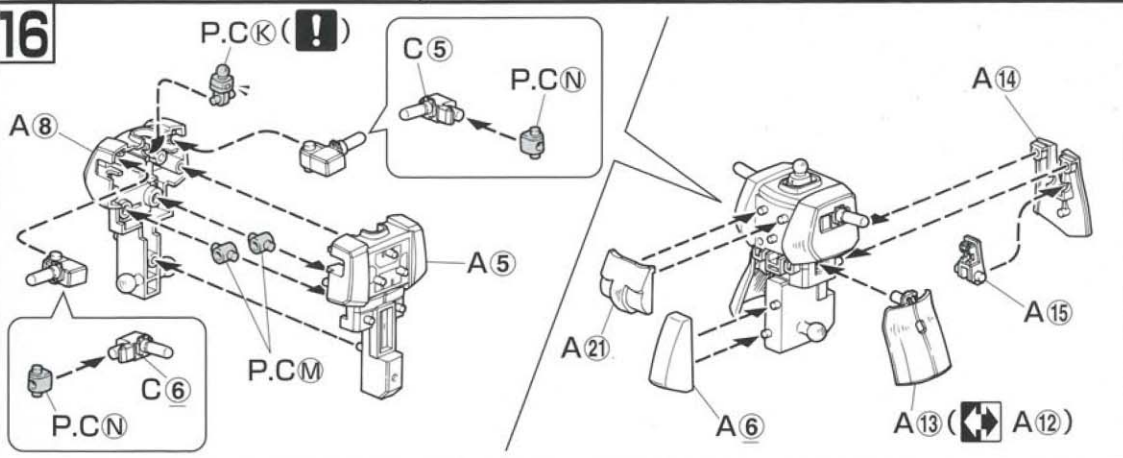
15



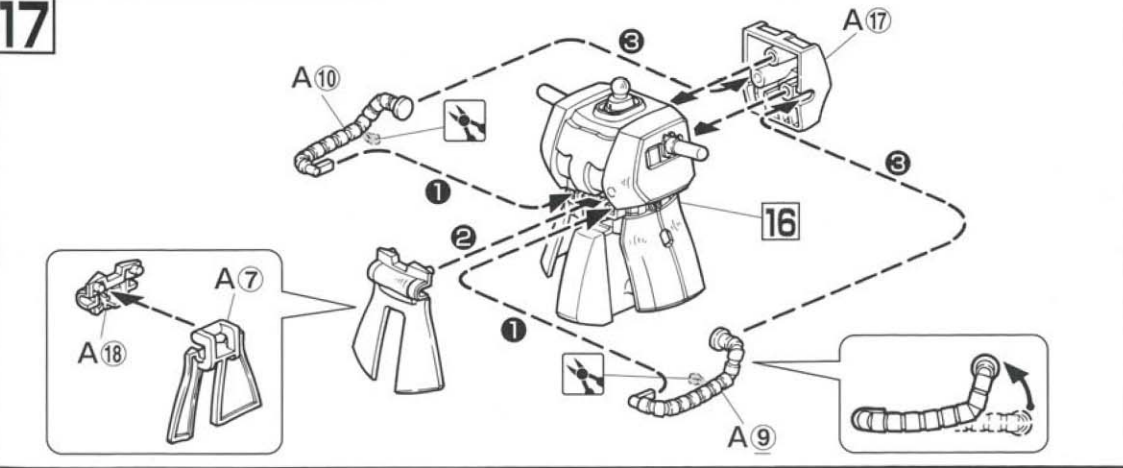
14



16

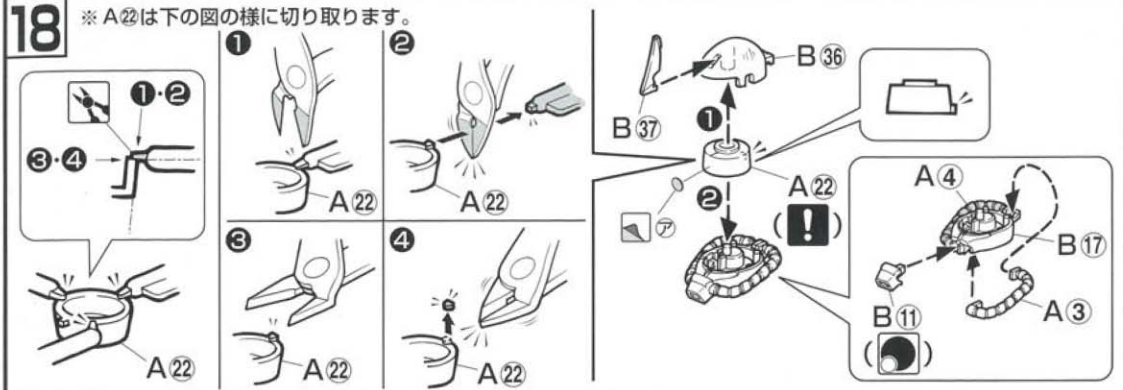


17



18

※A2は下の図の様に切り取ります。



19

